

令和4年度シラバス

作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
身体障害評価学Ⅱ		演習・講義	石原 真奈美・山本 翔太	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
身体障害領域の作業療法評価の意義、目的、方法について学ぶ。知識と技術の獲得と両者の統合を目指す。				
授業の到達目標				
1.身体障害領域の作業療法評価で用いる検査・測定（形態計測、感覚検査、反射検査）を列挙、説明、実施できる。 2.筋の視診と触診の意義、目的、方法を説明し、実施できる。 3.徒手筋力検査を行う意義、目的、方法を説明できる。 4.徒手筋力検査を正確に測定できる。				
授業計画				
回	内容			
1	形態計測、感覚検査			
2	形態計測、感覚検査			
3	形態計測、感覚検査			
4	反射検査			
5	筋の視診と触診			
6	徒手筋力検査（MMT）			
7	徒手筋力検査（MMT）			
8	徒手筋力検査（MMT）			
9	徒手筋力検査（MMT）			
10	徒手筋力検査（MMT）			
11	徒手筋力検査（MMT）			
12	徒手筋力検査（MMT）			
13	徒手筋力検査（MMT）			
14	徒手筋力検査（MMT）			
15	徒手筋力検査（MMT）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%			
レポート				
小テスト	10%			
平常点				
その他	40%	MMT実技試験で評価する		
自由記載	再試の場合には再試験とMMT実技試験とで採点を行う。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準作業療法学 作業療法評価学 第3版	岩崎テル子 他編		医学書院	
神経診察クローズアップ 改訂第3版	鈴木則宏 編		メジカルビュー	
新・徒手筋力検査法 原著第10版	津山直一 他訳		協同医書	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
予習が講義参加の前提である。実技がある講義ではKCで参加すること。後期中にMMTの実技試験を行う。				